

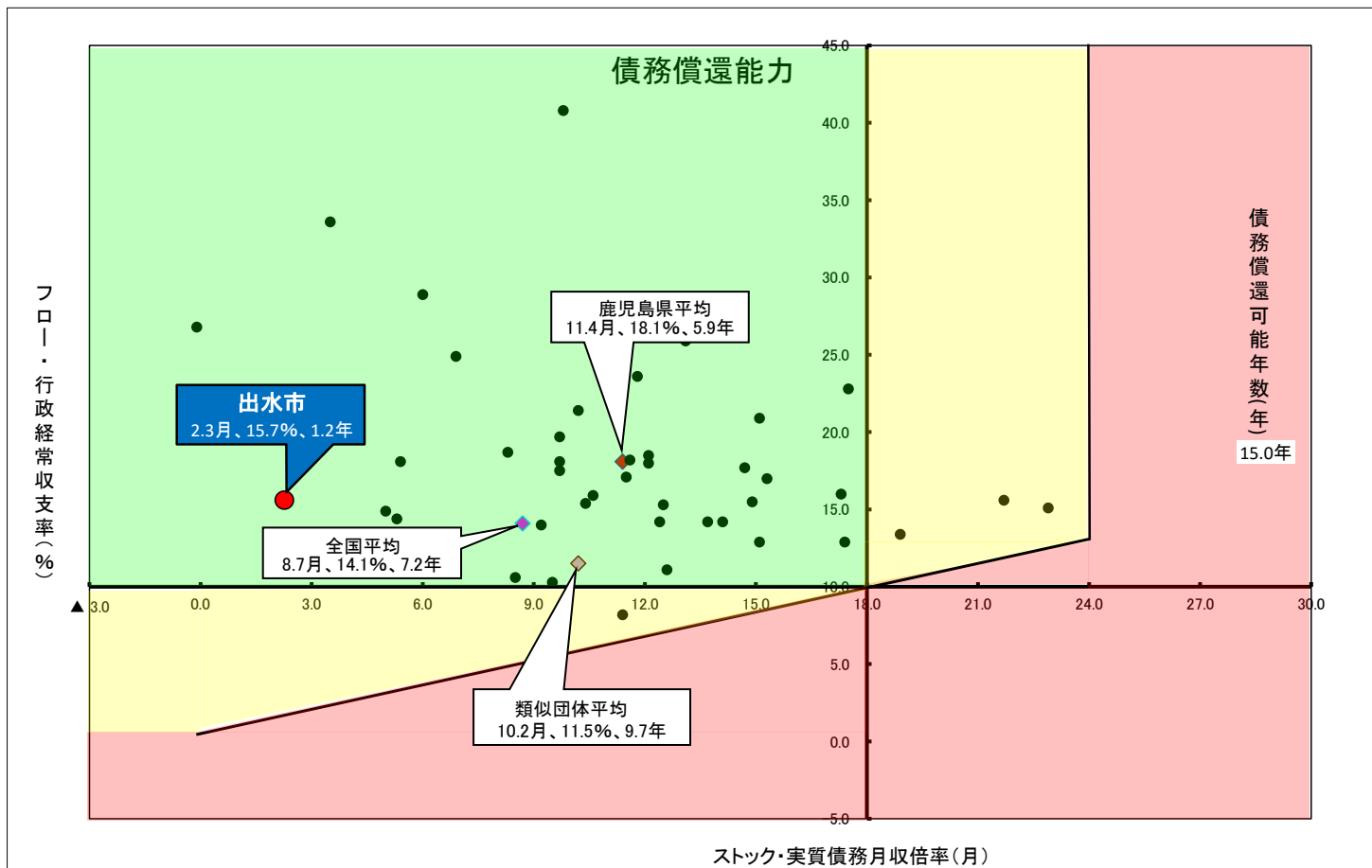
# 参考資料

財務状況把握  
結果概要交付付属

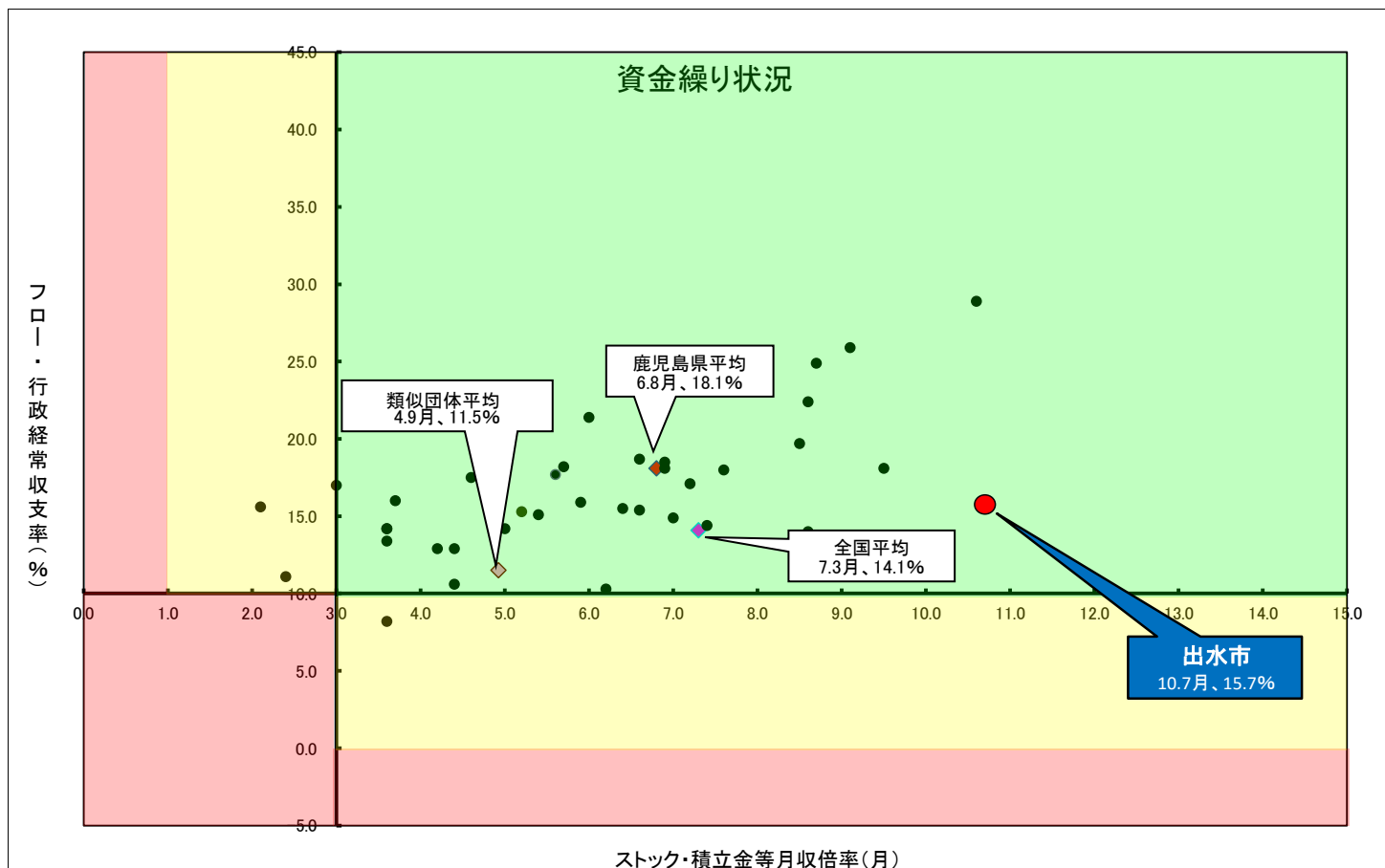
# 平成26年度 ポジショニングマップ

(鹿児島県内市町村の財務指標)

平成29年1月30日  
九州財務局  
理財部融資課



※数値は、(実質債務月収倍率, 行政経常収支率, 債務償還可能年数)である。※各団体の指標値はヒアリング団体のみ補正後。平均値は全団体補正前。

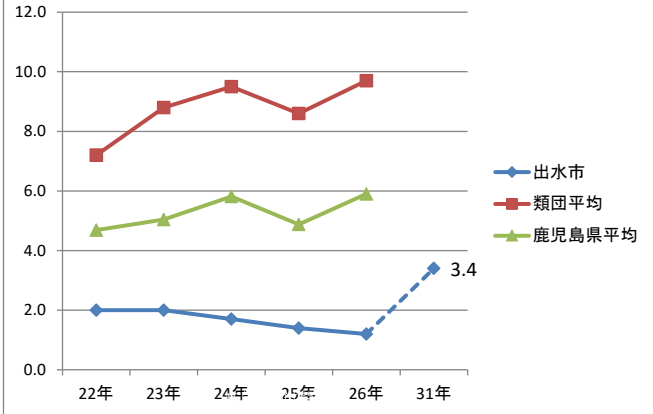


※数値は、(積立金等月収倍率, 行政経常収支率)である。※各団体の指標値はヒアリング団体のみ補正後。平均値は全団体補正前。

(指標及び指標構成要素の推移)

当シミュレーション表は、今回の財務状況把握ヒアリングにおいて、「出水市財政計画」に基づき作成いただいた、「収支計画検証・診断シート」により作成しています。

**債務償還可能年数(年)**



指標

目安:15年未満は問題なし

算式:実質債務÷行政経常収支

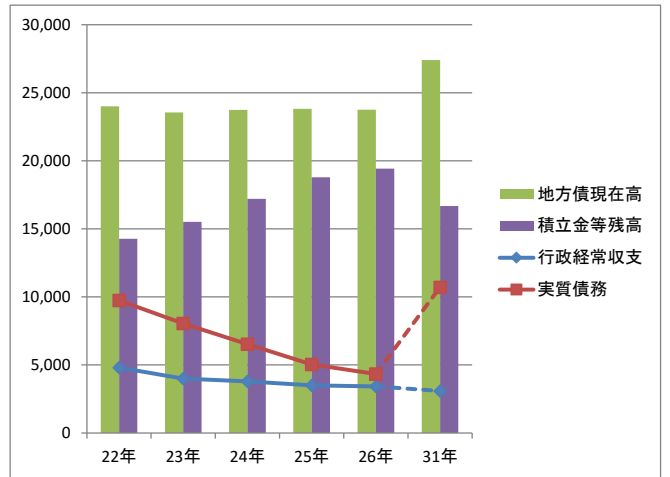
実質債務(地方債現在高及び有利子負債相当額の合計額から積立金等を控除した実質的な債務)が償還原資となる行政経常収支(キャッシュフロー)の何年分あるかを示している。

家計に例えると何年でローンを返済できるかを表している。

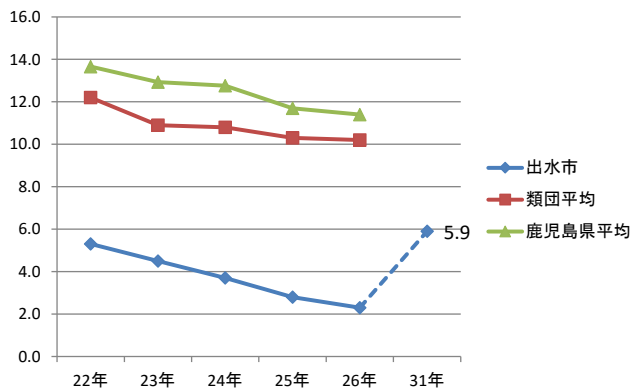
**債務償還可能年数の構成要素推移**

■分母、■分子 単位:百万円

	22年	23年	24年	25年	26年	31年
行政経常収支	4,807	3,997	3,792	3,502	3,430	3,089
実質債務	9,742	8,044	6,525	5,034	4,339	10,711
地方債現在高	24,004	23,552	23,736	23,816	23,764	27,397
積立金等残高	14,271	15,513	17,214	18,785	19,425	16,686



**実質債務月収倍率(月)**



指標

目安:18か月未満は問題なし

算式:実質債務÷行政経常収入/12

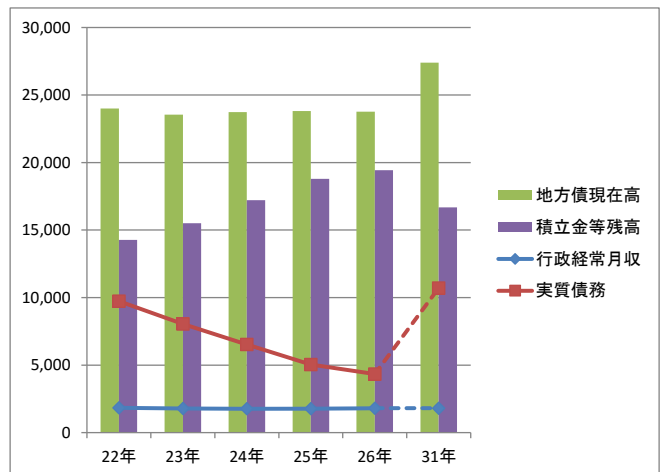
実質債務の大きさを表す指標で、実質債務が行政経常月収(行政経常収入/12)の何か月分に相当するかを示している。

家計に例えると、ローンが月収の何倍あるかということを表している。

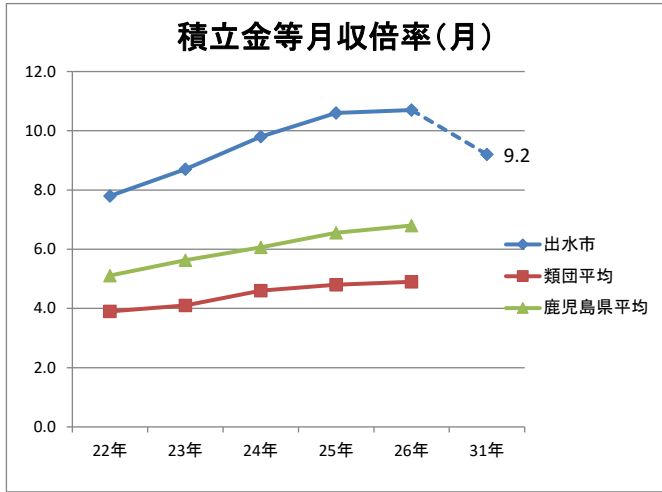
**実質債務月収倍率の構成要素推移**

■分母、■分子 単位:百万円

	22年	23年	24年	25年	26年	31年
行政経常月収	1,836	1,781	1,764	1,768	1,810	1,810
実質債務	9,742	8,044	6,525	5,034	4,339	10,711
地方債現在高	24,004	23,552	23,736	23,816	23,764	27,397
積立金等残高	14,271	15,513	17,214	18,785	19,425	16,686



(指標及び指標構成要素の推移)



指標

目安: 3カ月以上は問題なし

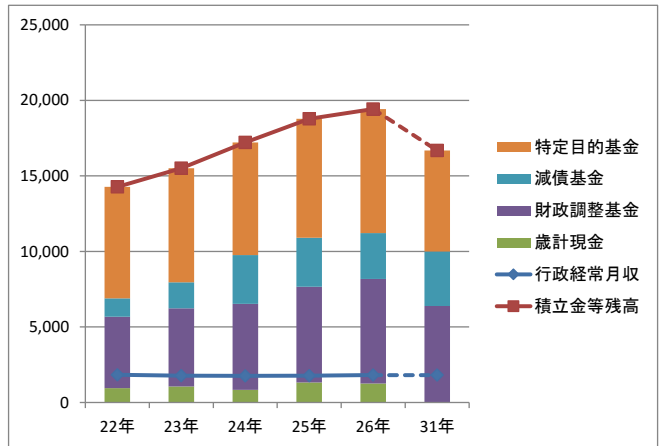
算式: 積立金等 ÷ 行政経常収入 / 12

積立金等(現金預金(歳計・財調・減債)及びその他特定目的基金)が行政経常月収(行政経常収入/12)の何か月分あるのかを示している。

家計に例えると、預貯金が給料の何倍あるかということを表している。

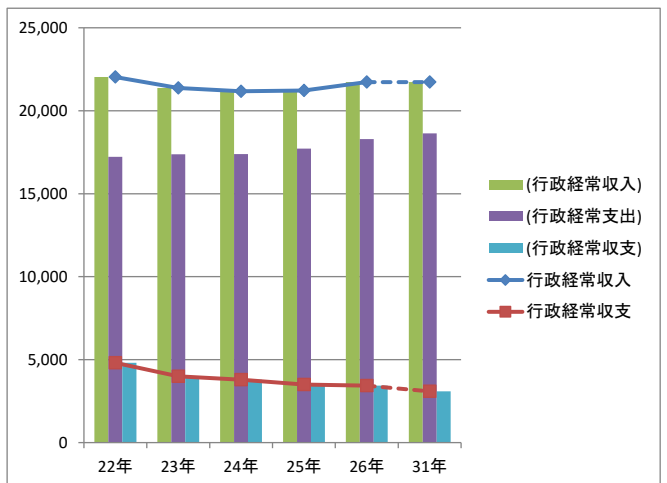
積立金等月収倍率の構成要素推移 単位: 百万円

	22年	23年	24年	25年	26年	31年
行政経常月収	1,836	1,781	1,764	1,768	1,810	1,810
積立金等残高	14,271	15,513	17,214	18,785	19,425	16,686
歳計現金	949	1,061	844	1,331	1,255	0
財政調整基金	4,725	5,175	5,684	6,336	6,925	6,391
減債基金	1,222	1,725	3,229	3,234	3,040	3,603
特定目的基金	7,375	7,553	7,456	7,885	8,205	6,692

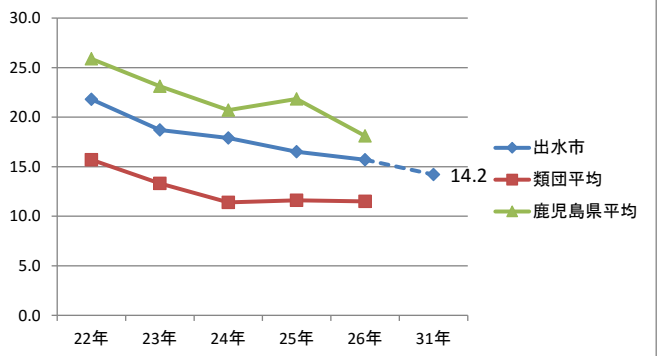


行政経常収支比率の構成要素推移 単位: 百万円

	22年	23年	24年	25年	26年	31年
行政経常収入	22,030	21,377	21,173	21,220	21,724	21,725
行政経常収支	4,807	3,997	3,792	3,502	3,430	3,089
(行政経常収入)	22,030	21,377	21,173	21,220	21,724	21,725
(行政経常支出)	17,222	17,380	17,381	17,718	18,294	18,636
(行政経常収支)	4,807	3,997	3,792	3,502	3,430	3,089



### 行政経常収支率(%)



指標

目安: 10.0%以上は問題なし

算式: 行政経常収支 ÷ 行政経常収入

この比率は、行政経常収入からどの程度の償還原資を生み出しているかという償還原資の獲得能力を表すと同時に、経常的な収入で経常的な支出を賄えているかという経常的な資金繰り状況を表している。一般的にこの比率が高ければ、債務償還能力は高く、かつ、資金繰り状況も良好であると考えられる。

家計に例えると給料から生活経費を差し引いた後どれだけ手元にローン返済用の資金が残るかということを表している。